

「人権週間」

学校長 金子 正人

早いもので12月を迎え、カレンダーが残り一枚となりました。今年はインフルエンザの流行が例年より早く始まっているとのニュースもあり、学校でも心配しているところです。

12月4日～10日は人権について考える「人権週間」です。これは、1948年に国際連合で「世界人権宣言」が採択されたことを記念して、世界各地で行われる人権活動を推進する活動の一環です。横浜市でも「誰もがいきいきと暮らせるよこはまを目指して」という標語のもとで様々な取組が行われます。

人権課題には多くのものがありますが、「いじめ」、「外国人」、「障害者」、「インターネットと人権」*「虐待」などは本校の子どもたちに真剣に考えてほしい内容です。文部科学省の調査によれば2018年度に学校で認識されたいじめの件数は、小中高あわせて54万件余りと過去最高を更新しています。

本校でも、からかいや悪口といったいじめや、SNS（ラインなどの交流サイト）によるトラブルなどが報告されています。行っている本人は、軽い気持ちや冗談のつもりでも、言われた本人は深く傷つくことがあります。「何気ない一言やしぐさが誰かを傷つけてしまうことがある」ということをいつも頭において生活してほしいと思います。ぜひご家庭でも、日頃の言葉遣いなどについて話題にしていいただければと思います。

人権週間に合わせて、学校では毎年いろいろな国の遊びを紹介する「つながる遊び集会」を行います。今年は、来年に迫った東京オリンピック・パラリンピックにちなんで、「つながる国のスポーツを楽しむ」をテーマに集会を行います。19の国と地域の子どもたちが共に学ぶ本校では紹介されるスポーツも多様です。この機会にいろいろな国のスポーツに親しんでほしいものです。また、人権集会では、障害をテーマにした話をきくことを通して、障害について理解し、障害のあるなしに関わらず、誰もが安心して生活できる社会について考える機会をもちたいと思います。その他にも、いじめについて話し合ったり、普段の言葉遣いを振り返ったりと様々な取組をすることで、自分とは異なる多様な他者を認め受け入れていく気持ちを育てていきます。このように学校では、いじめや差別のない社会を目指して地道な取組を行っています。

*「インターネットと人権」：インターネットの掲示板やSNSで他人を誹謗中傷したり、無責任な噂を流したり、個人情報や無断で掲示したりすることが社会問題になっています。学校行事の動画や写真は家庭で楽しむためのものなので無断でサイトに投稿することはやめましょう。